

福祉社会デザイン研究科

研究指導概要

博士前期課程・修士課程

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・論文題目に合わせ、基礎科目、専門科目の履修指導を受ける。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法論を修得する。

2 セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成の指導を受ける。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・研究テーマに関連した研究課題や研究方法についてプレゼンテーションと討論を経験させ、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。

3 セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、文献研究を行い、研究方法の妥当性を検証しつつ、研究成果のとりまとめを行う。
- ・国内外の学会発表、論文投稿等、積極的に取り組めるよう指導を受ける。

4 セメスタ

- ・修士論文の骨子について、検討する。
- ・研究精度を高め、修士学位論文にまとめる。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

博士前期課程および修士課程2年生で、修士論文を提出する予定の者は、各専攻またはコースで定められた中間報告会および最終試験・修士論文発表会等で論文要旨をまとめて報告しなければならない。中間報告会および修士論文発表会等の開催時期や、報告の形式および配付資料の準備等、報告会の詳細は入学時ガイダンスまたは授業期間中に周知する。

博士前期課程在籍者は、学年等の如何を問わず報告を聞くことが可能なので、積極的に参加することが望ましい。

3. 特定課題研究論文等

福祉社会システム専攻、ヒューマンデザイン専攻、人間環境デザイン専攻では、修士論文の提出にかえて、特定課題研究論文の提出を認めている。特定課題研究論文とは、特定の課題について実践的に調査・研究した論文をいう。特定課題研究論文での提出を希望するものは、以下の要件に沿って提出すること。各専攻の要件の詳細は入学ガイダンス時に説明する。

- ・原則本大学院に2年以上の在学し、各専攻で定められた単位数を修得しなくてはならない。
 - 1) 福祉社会システム専攻は、36単位以上修得（見込）していること。
 - 2) ヒューマンデザイン専攻・人間環境デザイン専攻は、30単位以上修得（見込）していること。
- ・特定課題研究論文（12,000字以上のもの3本提出）の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。
- ・特定課題研究論文の選択は、原則として入学時に選択する。
特定課題研究論文の審査基準は、修士論文の基準に準ずる。

博士後期課程

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・論文題目に合わせ、基礎科目、専門科目の履修指導を受ける。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法論を修得する。

2 セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成の指導を受ける。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・研究テーマに関連した研究課題や研究方法についてプレゼンテーションと討論を経験し、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。

3 セメスタ

- ・ 確定した研究テーマに基づいて調査、文献研究を行い、研究方法の妥当性を検証する。
- ・ 国内外の学会発表、論文投稿等、積極的に取り組めるよう指導を受ける。

4 セメスタ

- ・ 収集した研究データ（量的、質的、文献資料）の分析を行い、研究結果を整理する。

5 セメスタ

- ・ 研究結果について、多角的な考察を展開し、博士論文の骨子について、検討する。
- ・ 研究精度を高め、博士学位論文にまとめる。

6 セメスタ

- ・ 論文についての精査を行って、推敲を繰り返した上で提出する。
- ・ 口述試験への準備を開始する。

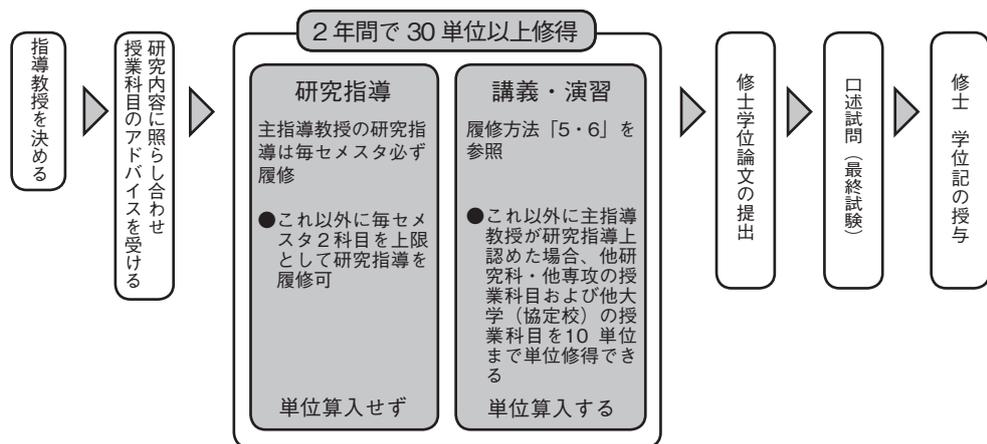
2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

中間報告会での報告が博士論文の提出要件となっているため、在学者は全員、必ず現在の状況に即して各専攻またはコースで定められた中間報告会で報告すること。中間報告会の開催時期や、報告の形式および配付資料の準備等、報告会に関わる詳細は入学時ガイダンスまたは授業期間中に周知する。

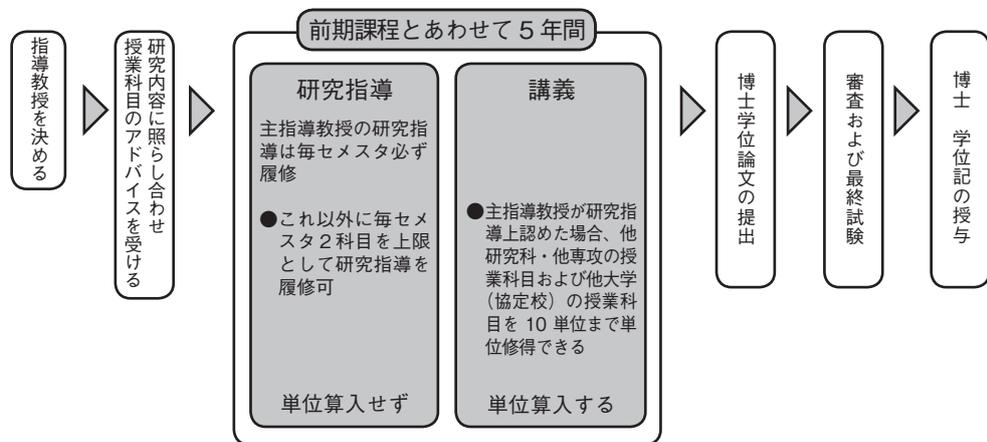
審査終了時までに博士学位論文提出者による公聴会を開催する。

社会福祉学専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



社会福祉学専攻

博士前期課程

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	単 位	相 関 ナンバリング	学 期	講 義 ・ 演 習 の 別	職 名	担当教員	備 考
共通	社会福祉基礎特論Ⅰ	研究基礎論【必修】	2	SWS601	春	講義	教授	稲 沢 公 一	全コースの必修科目
	社会福祉基礎特論Ⅱ	社会測定評価論	2	SWS602		講義			本年度休講
	社会福祉基礎特論Ⅲ	研究方法論A(量的データの分析)	2	SWS603	春	講義	教授(兼任)	志 村 健 一	
	社会福祉基礎特論Ⅳ	研究方法論B(質的データの分析)	2	SWS604	春	講義	非常勤講師	村 社 卓	集中講義
	社会福祉実務演習A	インターンシップ	2	CIV601		演習			本年度休講
	社会福祉実務演習B	インターンシップ	2	CIV602		演習			本年度休講
社会福祉原理歴史コース	社会福祉原理歴史特論ⅠA	社会福祉原理論	2	SWS605	春	講義	教授	稲 沢 公 一	社会福祉学研究指導ⅠAと共通
	社会福祉原理歴史特論ⅠB	社会福祉原理論	2	SWS606	秋	講義	教授	稲 沢 公 一	社会福祉学研究指導ⅠBと共通
	社会福祉原理歴史特論ⅡA	社会福祉思想史論	2	SWS607		講義			本年度休講
	社会福祉原理歴史特論ⅡB	社会福祉思想史論	2	SWS608		講義			本年度休講
	社会福祉原理歴史特論ⅢA	社会福祉価値論・社会福祉人権論	2	SWS609		講義			本年度休講
	社会福祉原理歴史特論ⅢB	社会福祉価値論・社会福祉人権論	2	SWS610		講義			本年度休講
	社会福祉原理歴史特論ⅣA	社会福祉施設史論	2	SWS611		講義			本年度休講
	社会福祉原理歴史特論ⅣB	社会福祉施設史論	2	SWS612		講義			本年度休講
社会福祉政策計画コース	社会福祉政策計画特論ⅠA	アドミニストレーション論	2	SWS613	春	講義	教授	伊奈川 秀 和	社会福祉学研究指導ⅢAと共通
	社会福祉政策計画特論ⅠB	アドミニストレーション論	2	SWS614	秋	講義	教授	伊奈川 秀 和	社会福祉学研究指導ⅢBと共通
	社会福祉政策計画特論ⅡA	高齢者福祉政策論	2	SWS615		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画特論ⅡB	高齢者福祉政策論	2	SWS616		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画特論ⅢA	社会福祉法制・行政論	2	SWS617	春	講義	教授	秋 元 美 世	社会福祉学研究指導ⅤAと共通
	社会福祉政策計画特論ⅢB	社会福祉法制・行政論	2	SWS618	秋	講義	教授	秋 元 美 世	社会福祉学研究指導ⅤBと共通
	社会福祉政策計画特論ⅣA	貧 困 論	2	SWS619		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画特論ⅣB	貧 困 論	2	SWS620		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画特論ⅤA	高 齢 者 福 祉 論	2	SWS621	春	講義	非常勤講師	奥 山 正 司	
	社会福祉政策計画特論ⅤB	高 齢 者 福 祉 論	2	SWS622	秋	講義	非常勤講師	奥 山 正 司	
	社会福祉政策計画特論ⅥA	介護保障・ケアマネジメント	2	SWS623	春	講義	教授(兼任)	藤 林 慶 子	
	社会福祉政策計画特論ⅥB	介護保障・ケアマネジメント	2	SWS624	秋	講義	教授(兼任)	藤 林 慶 子	
	社会福祉政策計画特論ⅦA	障 害 者 福 祉 論	2	SWS625		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画特論ⅦB	障 害 者 福 祉 論	2	SWS626		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画特論ⅧA	地 域 福 祉 論	2	SWS627	春	講義	非常勤講師	三本松 政 之	
	社会福祉政策計画特論ⅧB	地 域 福 祉 論	2	SWS628	秋	講義	非常勤講師	三本松 政 之	
	社会福祉政策計画特論ⅨA	地域活動計画論	2	SWS629	春	講義	准教授	加 山 弾	社会福祉学研究指導ⅨAと共通
	社会福祉政策計画特論ⅨB	地域活動計画論	2	SWS630	秋	講義	准教授	加 山 弾	社会福祉学研究指導ⅨBと共通
ソーシャルワークコース	ソーシャルワーク特論ⅠA	ジェネリック・ソーシャルワーク論	2	SWS631	春	講義	客員教授	佐 藤 豊 道	社会福祉学研究指導ⅥAと共通
	ソーシャルワーク特論ⅠB	ジェネリック・ソーシャルワーク論	2	SWS632	秋	講義	客員教授	佐 藤 豊 道	社会福祉学研究指導ⅥBと共通
	ソーシャルワーク特論ⅡA	ソーシャルワーク実践論	2	SWS633	春	講義	客員教授	野 村 豊 子	社会福祉学研究指導ⅦAと共通
	ソーシャルワーク特論ⅡB	ソーシャルワーク実践論	2	SWS634	秋	講義	客員教授	野 村 豊 子	社会福祉学研究指導ⅦBと共通
	ソーシャルワーク特論ⅢA	子ども家庭ソーシャルワーク論	2	SWS635		講義			本年度休講
	ソーシャルワーク特論ⅢB	子ども家庭ソーシャルワーク論	2	SWS636		講義			本年度休講
	ソーシャルワーク特論ⅣA	ソーシャルワーク・リサーチ	2	SWS637	春	講義	非常勤講師(兼任)	北 島 英 治	
	ソーシャルワーク特論ⅣB	スーパージョン論	2	SWS638	秋	講義	非常勤講師(兼任)	北 島 英 治	

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	単 位	組 番号	学 期	講 義・ 演習の別	職 名	担当教員	備 考
研究指導	社会福祉学研究指導ⅠA	社会福祉原理論		REG601	春		教授	稲 沢 公 一	
	社会福祉学研究指導ⅠB	社会福祉原理論		REG602	秋		教授	稲 沢 公 一	
	社会福祉学研究指導ⅡA	社会福祉思想史論		REG603					本年度休講
	社会福祉学研究指導ⅡB	社会福祉思想史論		REG604					本年度休講
	社会福祉学研究指導ⅢA	アドミニストレーション論		REG605	春		教授	伊奈川 秀 和	
	社会福祉学研究指導ⅢB	アドミニストレーション論		REG606	秋		教授	伊奈川 秀 和	
	社会福祉学研究指導ⅣA	高齢者福祉政策論		REG607					本年度休講
	社会福祉学研究指導ⅣB	高齢者福祉政策論		REG608					本年度休講
	社会福祉学研究指導ⅤA	社会福祉法制・行政論		REG609	春		教授	秋 元 美 世	
	社会福祉学研究指導ⅤB	社会福祉法制・行政論		REG610	秋		教授	秋 元 美 世	
	社会福祉学研究指導ⅥA	ジェネリック・ソーシャルワーク論		REG611	春		客員教授	佐 藤 豊 道	
	社会福祉学研究指導ⅥB	ジェネリック・ソーシャルワーク論		REG612	秋		客員教授	佐 藤 豊 道	
	社会福祉学研究指導ⅦA	ソーシャルワーク実践論		REG613	春		客員教授	野 村 豊 子	
	社会福祉学研究指導ⅦB	ソーシャルワーク実践論		REG614	秋		客員教授	野 村 豊 子	
	社会福祉学研究指導ⅧA	子ども家庭ソーシャルワーク論		REG615					本年度休講
	社会福祉学研究指導ⅧB	子ども家庭ソーシャルワーク論		REG616					本年度休講
	社会福祉学研究指導ⅨA	地域活動計画論		REG617	春		准教授	加 山 弾	
	社会福祉学研究指導ⅨB	地域活動計画論		REG618	秋		准教授	加 山 弾	

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「社会福祉基礎特論Ⅰ」はコースを問わず必修科目なので、全員必ず履修・単位修得すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」はセメスタ毎に3科目(主指導教授1名<必須>・副指導教授2名<任意>)を上限として、履修・単位修得(0単位)することができる(各研究指導は、指定された講義において行う)。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 主指導教授が担当する「講義」は、在学中2回(8単位)まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる(「研究指導」と共通して開講されているもので、2科目(A<春学期開講>・B<秋学期開講>)のみが対象となる)。
3回目以降(長期履修学生および原級した場合等)の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 上記5. 以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に取得した成績および単位のみとする。したがって、2回目以降の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得し、修了単位に充当することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる。2回目以降の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない)。

博士後期課程

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	単 位	相 関 バ ン ド	学 期	講 義 ・ 演 習 の 別	職 名	担 当 教 員	備 考
社会福祉歴史コース	社会福祉原理歴史研究ⅠA	社会福祉原理研究	2	SWS701	春	講義	教授	稲 沢 公 一	社会福祉学研究指導ⅠAと共通
	社会福祉原理歴史研究ⅠB	社会福祉原理研究	2	SWS702	秋	講義	教授	稲 沢 公 一	社会福祉学研究指導ⅠBと共通
	社会福祉原理歴史研究ⅡA	社会福祉思想史研究	2	SWS703		講義			本年度休講
	社会福祉原理歴史研究ⅡB	社会福祉思想史研究	2	SWS704		講義			本年度休講
社会福祉政策計画コース	社会福祉政策計画研究ⅠA	保健福祉政策計画研究	2	SWS705	春	講義	教授	伊奈川 秀 和	社会福祉学研究指導ⅢAと共通
	社会福祉政策計画研究ⅠB	保健福祉政策計画研究	2	SWS706	秋	講義	教授	伊奈川 秀 和	社会福祉学研究指導ⅢBと共通
	社会福祉政策計画研究ⅡA	高齢者福祉政策研究	2	SWS707		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画研究ⅡB	高齢者福祉政策研究	2	SWS708		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画研究ⅢA	社会福祉法制研究	2	SWS709	春	講義	教授	秋 元 美 世	社会福祉学研究指導ⅤAと共通
	社会福祉政策計画研究ⅢB	社会福祉法制研究	2	SWS710	秋	講義	教授	秋 元 美 世	社会福祉学研究指導ⅤBと共通
	社会福祉政策計画研究ⅣA	地域活動計画研究	2	SWS711	春	講義	准教授	加 山 弾	社会福祉学研究指導ⅣAと共通
	社会福祉政策計画研究ⅣB	地域活動計画研究	2	SWS712	秋	講義	准教授	加 山 弾	社会福祉学研究指導ⅣBと共通
	社会福祉政策計画研究ⅤA	高齢者ケアシステム研究	2	SWS713		講義			本年度休講
	社会福祉政策計画研究ⅤB	高齢者ケアシステム研究	2	SWS714		講義			本年度休講
ソーシャルワークコース	ソーシャルワーク研究ⅠA	ジェネリック・ソーシャルワーク研究	2	SWS715	春	講義	客員教授	佐 藤 豊 道	社会福祉学研究指導ⅥAと共通
	ソーシャルワーク研究ⅠB	ジェネリック・ソーシャルワーク研究	2	SWS716	秋	講義	客員教授	佐 藤 豊 道	社会福祉学研究指導ⅥBと共通
	ソーシャルワーク研究ⅡA	ソーシャルワーク実践研究	2	SWS717	春	講義	客員教授	野 村 豊 子	社会福祉学研究指導ⅦAと共通
	ソーシャルワーク研究ⅡB	ソーシャルワーク実践研究	2	SWS718	秋	講義	客員教授	野 村 豊 子	社会福祉学研究指導ⅦBと共通
	ソーシャルワーク研究ⅢA	障がい者ソーシャルワーク研究	2	SWS719	春	講義	教授	志 村 健 一	社会福祉学研究指導ⅧAと共通
	ソーシャルワーク研究ⅢB	障がい者ソーシャルワーク研究	2	SWS720	秋	講義	教授	志 村 健 一	社会福祉学研究指導ⅧBと共通
研究指導	社会福祉学研究指導ⅠA	社会福祉原理研究		REG701	春		教授	稲 沢 公 一	
	社会福祉学研究指導ⅠB	社会福祉原理研究		REG702	秋		教授	稲 沢 公 一	
	社会福祉学研究指導ⅡA	社会福祉思想史研究		REG703	春		教授	金 子 光 一	
	社会福祉学研究指導ⅡB	社会福祉思想史研究		REG704	秋		教授	金 子 光 一	
	社会福祉学研究指導ⅢA	保健福祉政策計画研究		REG705	春		教授	伊奈川 秀 和	
	社会福祉学研究指導ⅢB	保健福祉政策計画研究		REG706	秋		教授	伊奈川 秀 和	
	社会福祉学研究指導ⅣA	地域活動計画研究		REG707	春		准教授	加 山 弾	
	社会福祉学研究指導ⅣB	地域活動計画研究		REG708	秋		准教授	加 山 弾	
	社会福祉学研究指導ⅤA	社会福祉法制研究		REG709	春		教授	秋 元 美 世	
	社会福祉学研究指導ⅤB	社会福祉法制研究		REG710	秋		教授	秋 元 美 世	
	社会福祉学研究指導ⅥA	ジェネリック・ソーシャルワーク研究		REG711	春		客員教授	佐 藤 豊 道	
	社会福祉学研究指導ⅥB	ジェネリック・ソーシャルワーク研究		REG712	秋		客員教授	佐 藤 豊 道	
	社会福祉学研究指導ⅦA	ソーシャルワーク実践研究		REG713	春		客員教授	野 村 豊 子	
	社会福祉学研究指導ⅦB	ソーシャルワーク実践研究		REG714	秋		客員教授	野 村 豊 子	
	社会福祉学研究指導ⅧA	障がい者ソーシャルワーク研究		REG715	春		教授	志 村 健 一	
	社会福祉学研究指導ⅧB	障がい者ソーシャルワーク研究		REG716	秋		教授	志 村 健 一	

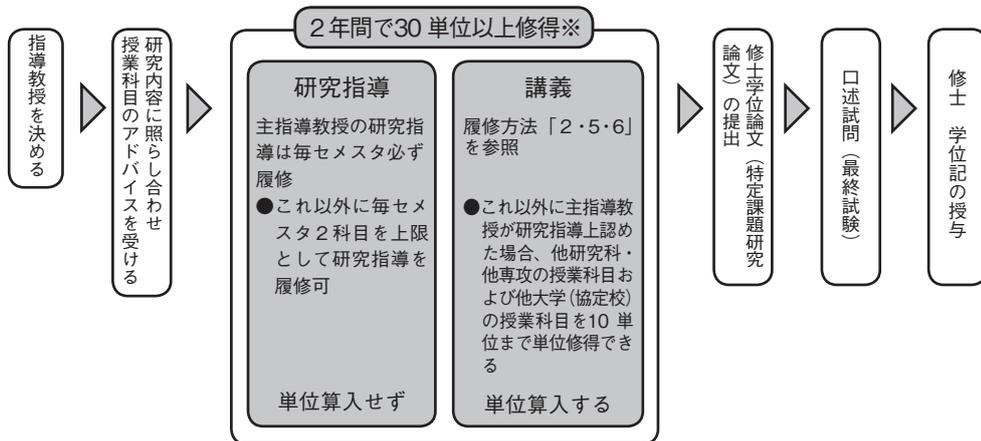
履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」はセメスタ毎に3科目(主指導教授1名<必須>・副指導教授2名<任意>)を上限として、履修・単位修得(0単位)することができる(各研究指導は、指定された講義において行う)。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得できる。2回目以降の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない)。

福祉社会システム専攻

修士課程

履修の流れ



特定課題研究論文を修士学位論文に代える場合は、2年間で36単位以上修得

福祉社会システム専攻

修士課程

区分	授業科目	サブタイトル	単 位	組 ンパリング	学 期	講 義・ 演 習 の 別	職 名	担当教員	備 考
共通	福祉社会システム基礎特論Ⅰ	研究基礎論【必修】	2	SWS601	春	講義	教授	須田 木綿子	全コースの必修科目
	福祉社会システム基礎特論Ⅱ	社会測定評価論	2	SWS602		講義			本年度休講
	福祉社会システム基礎特論Ⅲ	研究方法論A(量的データの分析)	2	SWS603	秋	講義	非常勤講師	北島 英治	
	福祉社会システム基礎特論Ⅳ	研究方法論B(質的データの分析)	2	SOC601	秋	講義	教授	文 貞實	
	福祉社会システム基礎特論Ⅴ	専門職の価値と倫理	2	SOC602	春	講義	准教授	村尾 祐美子	福祉社会システム研究指導ⅦAと共通
	福祉社会システム基礎特論Ⅵ	社会調査論	2	SWS604	春	講義	非常勤講師	大竹 延幸	
	福祉社会システム基礎特論Ⅶ	現代社会と権利擁護	2	SWS605		講義			本年度休講(隔年開講)
	福祉社会システム基礎特論Ⅷ	社会学的認知論	2	SOC603	春	講義	教授	紀 葉子	福祉社会システム研究指導ⅧAと共通
	福祉社会システム基礎特論Ⅸ	社会学的認知論	2	SOC604	秋	講義	教授	紀 葉子	福祉社会システム研究指導ⅧBと共通
地域社会システムコース	地域社会システム特論ⅠA	地域社会システム論	2	SOC605		講義			本年度休講
	地域社会システム特論ⅠB	地域社会システム論	2	SOC606		講義			本年度休講
	地域社会システム特論ⅡA	国際地域社会論	2	SOC607	春	講義	教授	松本 誠一	福祉社会システム研究指導ⅡAと共通
	地域社会システム特論ⅡB	国際地域社会論	2	SOC608	秋	講義	教授	松本 誠一	福祉社会システム研究指導ⅡBと共通
	地域社会システム特論ⅢA	都市マイノリティ・スタディーズ	2	SOC609	春	講義	教授	文 貞實	福祉社会システム研究指導ⅢAと共通
	地域社会システム特論ⅢB	都市マイノリティ・スタディーズ	2	SOC610	秋	講義	教授	文 貞實	福祉社会システム研究指導ⅢBと共通
	地域社会システム特論ⅣA	死生論、社会・文化変動論	2	SOC611	春	講義	非常勤講師	井上 治代	
	地域社会システム特論ⅣB	死生論、社会・文化変動論	2	SOC612	秋	講義	非常勤講師	井上 治代	
	地域社会システム特論Ⅴ	地域社会論	2	SOC613		講義			本年度休講
	地域社会システム特論Ⅵ	現代社会論	2	SOC614	春	講義	教授	紀 葉子	
	地域社会システム特論Ⅶ	現代家族論	2	SOC615		講義			本年度休講
	地域社会システム特論Ⅷ	社会情報論(地域メディア論)	2	SOC616		講義			本年度休講
	地域社会システム特論Ⅸ	女性労働論	2	SOC617	秋	講義	准教授	村尾 祐美子	福祉社会システム研究指導ⅨBと共通
	地域社会システム特論Ⅹ	国際社会問題論	2	SOC618		講義			本年度休講
	地域社会システム特論Ⅺ	国際社会福祉問題論	2	SOC619		講義			本年度休講
	地域社会システム特論Ⅻ	外国人市民論	2	SOC620		講義			本年度休講
	地域社会システム特論ⅫA	教育と社会階級・階層論	2	SOC621	春	講義	教授	小澤 浩明	福祉社会システム研究指導ⅫAと共通
	地域社会システム特論ⅫB	教育と社会階級・階層論	2	SOC622	秋	講義	教授	小澤 浩明	福祉社会システム研究指導ⅫBと共通
	保健福祉システムコース	保健福祉システム特論ⅠA	多文化ソーシャルワーク論	2	SWS606	春	講義	准教授	荻野 剛史
保健福祉システム特論ⅠB		多文化ソーシャルワーク論	2	SWS607	秋	講義	准教授	荻野 剛史	福祉社会システム研究指導ⅠBと共通
保健福祉システム特論ⅡA		ケアマネジメント論	2	SWS608	春	講義	教授	藤林 慶子	福祉社会システム研究指導ⅡAと共通
保健福祉システム特論ⅡB		ケアマネジメント論	2	SWS609	秋	講義	教授	藤林 慶子	福祉社会システム研究指導ⅡBと共通
保健福祉システム特論Ⅲ		医療ソーシャルワーク論	2	SWS610	秋	講義	非常勤講師	若林 浩司	
保健福祉システム特論Ⅳ		医療組織論	2	SWS611	春	講義	非常勤講師	原山 哲	
保健福祉システム特論Ⅴ		貧困論	2	SWS612		講義			本年度休講
保健福祉システム特論Ⅵ		医療マネジメント論	2	SWS613		講義			本年度休講(隔年開講)
保健福祉システム特論Ⅶ		スーパービジョン論	2	SWS614	秋	講義	非常勤講師	北島 英治	
保健福祉システム特論Ⅷ		医療の質管理論	2	SWS615	秋	講義	非常勤講師	浅野 晃司	
保健福祉システム特論Ⅸ		福祉工学	2	SWS616		講義			本年度休講
保健福祉システム特論Ⅹ		老年医学の高齢者論	2	SWS617	春	講義	非常勤講師	高橋 龍太郎	集中講義
保健福祉システム特論Ⅺ		老年医学の高齢者論	2	SWS618	秋	講義	非常勤講師	高橋 龍太郎	集中講義
保健福祉システム特論ⅫA		障害者ケアシステム論	2	SWS619	春	講義	教授	志村 健一	福祉社会システム研究指導ⅫAと共通
保健福祉システム特論ⅫB	障害者ケアシステム論	2	SWS620	秋	講義	教授	志村 健一	福祉社会システム研究指導ⅫBと共通	

福祉社会システム

区分	授業科目	サブタイトル	単 位	相 対 番 号	学 期	講 義 ・ 演 習 の 別	職 名	担当教員	備 考
地域福祉システムコース	地域福祉システム特論ⅠA	高齢者ケアシステム論	2	SWS621	春	講義	教授	須田 木綿子	福祉社会システム研究指導ⅦAと共通
	地域福祉システム特論ⅠB	高齢者ケアシステム論	2	SWS622	秋	講義	教授	須田 木綿子	福祉社会システム研究指導ⅦBと共通
	地域福祉システム特論ⅡA	権利擁護論	2	SWS623	春	講義	教授	高山 直樹	福祉社会システム研究指導ⅧAと共通
	地域福祉システム特論ⅡB	権利擁護論	2	SWS624	秋	講義	教授	高山 直樹	福祉社会システム研究指導ⅧBと共通
	地域福祉システム特論ⅢA	地域福祉論	2	SWS625	春	講義	准教授	山本 美香	福祉社会システム研究指導ⅨAと共通
	地域福祉システム特論ⅢB	地域福祉論	2	SWS626	秋	講義	准教授	山本 美香	福祉社会システム研究指導ⅨBと共通
	地域福祉システム特論Ⅳ	ジェネリック・ソーシャルワーク論	2	SWS627	春	講義	客員教授(兼任)	佐藤 豊道	
	地域福祉システム特論Ⅴ	子ども家庭ソーシャルワーク論	2	SWS628		講義			本年度休講
	地域福祉システム特論Ⅵ	福祉アドミニストレーション論	2	SWS629	春	講義	教授(兼任)	伊奈川 秀和	
	地域福祉システム特論Ⅶ	非営利組織論	2	SWS630	秋	講義	教授	須田 木綿子	
	地域福祉システム特論Ⅷ	都市問題論	2	SWS631	春	講義	非常勤講師	皆川 満寿美	
	地域福祉システム特論Ⅸ	精神保健論	2	SWS632	春	講義	教授(兼任)	白石 弘巳	
研究指導	福祉社会システム研究指導ⅠA	地域社会システム論		REG601					本年度休講
	福祉社会システム研究指導ⅠB	地域社会システム論		REG602					本年度休講
	福祉社会システム研究指導ⅡA	国際地域社会論		REG603	春		教授	松本 誠一	
	福祉社会システム研究指導ⅡB	国際地域社会論		REG604	秋		教授	松本 誠一	
	福祉社会システム研究指導ⅢA	社会的公正とマイノリティ問題		REG605	春		教授	文 貞實	
	福祉社会システム研究指導ⅢB	社会的公正とマイノリティ問題		REG606	秋		教授	文 貞實	
	福祉社会システム研究指導ⅣA	死生論、社会・文化変動論		REG607					本年度休講
	福祉社会システム研究指導ⅣB	死生論、社会・文化変動論		REG608					本年度休講
	福祉社会システム研究指導ⅤA	多文化ソーシャルワーク論		REG609	春		准教授	荻野 剛史	
	福祉社会システム研究指導ⅤB	多文化ソーシャルワーク論		REG610	秋		准教授	荻野 剛史	
	福祉社会システム研究指導ⅥA	ケアマネジメント論		REG611	春		教授	藤林 慶子	
	福祉社会システム研究指導ⅥB	ケアマネジメント論		REG612	秋		教授	藤林 慶子	
	福祉社会システム研究指導ⅦA	高齢者ケアシステム論		REG613	春		教授	須田 木綿子	
	福祉社会システム研究指導ⅦB	高齢者ケアシステム論		REG614	秋		教授	須田 木綿子	
	福祉社会システム研究指導ⅧA	権利擁護論		REG615	春		教授	高山 直樹	
	福祉社会システム研究指導ⅧB	権利擁護論		REG616	秋		教授	高山 直樹	
	福祉社会システム研究指導ⅨA	障害者ケアシステム論		REG617	春		教授	志村 健一	
	福祉社会システム研究指導ⅨB	障害者ケアシステム論		REG618	秋		教授	志村 健一	
	福祉社会システム研究指導ⅩA	社会学的認知論		REG619	春		教授	紀 葉子	
	福祉社会システム研究指導ⅩB	社会学的認知論		REG620	秋		教授	紀 葉子	
	福祉社会システム研究指導ⅪA	地域福祉論		REG621	春		准教授	山本 美香	
	福祉社会システム研究指導ⅪB	地域福祉論		REG622	秋		准教授	山本 美香	
	福祉社会システム研究指導ⅫA	社会学的労働論		REG623	春		准教授	村尾 祐美子	
	福祉社会システム研究指導ⅫB	社会学的労働論		REG624	秋		准教授	村尾 祐美子	
	福祉社会システム研究指導ⅬA	教育と社会階級・階層論		REG625	春		教授	小澤 浩明	
	福祉社会システム研究指導ⅬB	教育と社会階級・階層論		REG626	秋		教授	小澤 浩明	

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「福祉社会システム基礎特論Ⅰ」はコースを問わず必修科目なので、**全員必ず履修・単位修得すること。**
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名<必須>・副指導教授2名<任意>）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。**
- 主指導教授が担当する「講義」は、在学中2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる（「研究指導」と共通して開講されているもので、2科目（A<春学期開講>・B<秋学期開講>）のみが対象となる）。
3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、**修了要件としては扱わない。**
- 上記5. 以外の「講義」は、在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、**修了単位として認められるのは、最初に取得した成績および単位のみとする。**したがって、2回目以降の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、**修了要件としては扱わない。**
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得し、修了単位に充当することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。2回目以降の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績及び単位は認定されるが、**修了要件としては扱わない。**
- 福祉社会システム専攻においては、「特定課題研究論文」（特定の課題についての研究成果報告書（12,000字以上のもの3本））の審査をもって修士論文の審査に代えることができる（P.244参照）。「特定課題研究論文」による審査の場合の修了に必要な単位数は**36単位以上**とする。
この「特定課題研究論文」の選択は、原則として入学時のみ可能である。これを選択する場合は、予め題目届の提出により窓口に申し出ること。
提出時期等は、下表のとおりとなる。

題目届提出締切日	論文提出時期（3本まとめたもの）
2016（平成28）年4月20日（水）	修士学位論文提出時期に同じ
2016（平成28）年10月1日（土）	

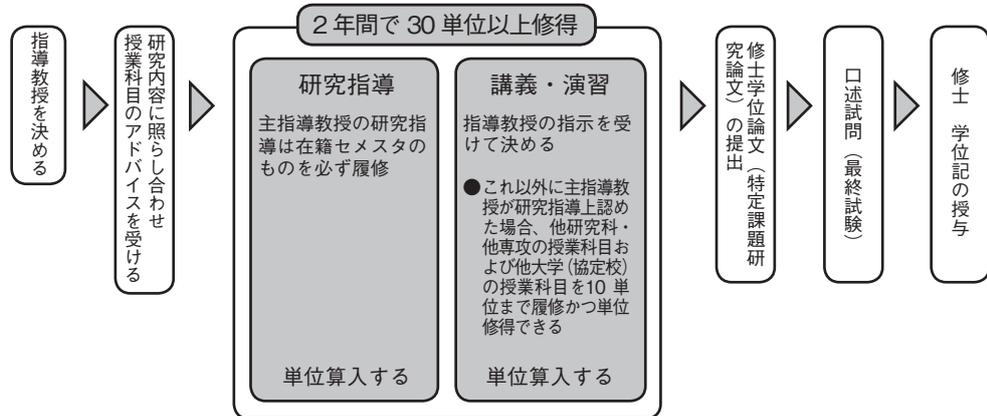
※3本のうち、1・2本目の提出時期は、主指導教授の指示を受け、適宜主・副指導教授に直接提出すること。
（所定の提出時期・様式は定めない。）

※3本目は、「修士学位論文」同様の提出時期・様式で、3本まとめたものを大学院教務課窓口へ提出すること。

ヒューマンデザイン専攻

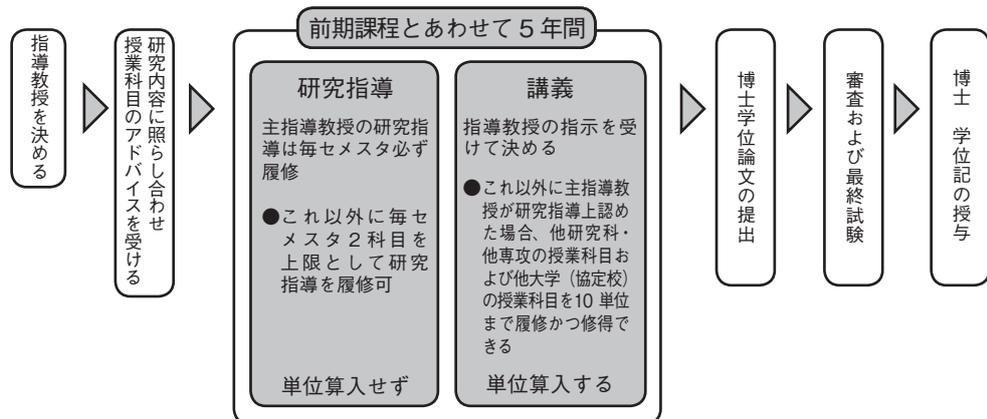
前期課程

履修の流れ



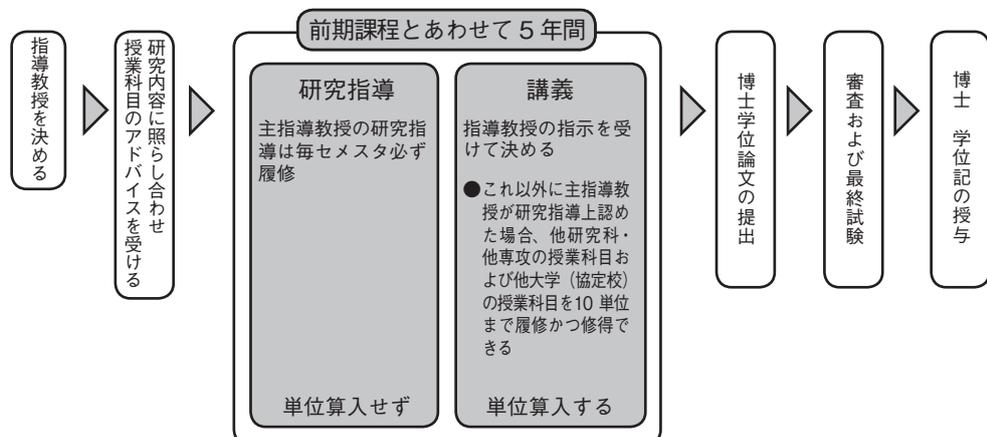
後期課程

2008年度以前入学生 履修の流れ



後期課程

2009年度以降入学生 履修の流れ



ヒューマンデザイン専攻

博士前期課程

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考
共通	春	(必修) ヒューマンデザイン基礎特論Ⅰ	ヒューマンデザイン研究入門	講義	2	SWS601		松尾、杉田、是枝、鈴木(哲)(以上代表者)	全コースの必修科目
	—	ヒューマンデザイン基礎特論Ⅱ	生活支援学基礎研究	講義	2	SWS602			本年度休講
	春	ヒューマンデザイン実践研究A		演習	2	CIV601		研究指導担当全教員	
	秋	ヒューマンデザイン実践研究B		演習	2	CIV602		研究指導担当全教員	
	秋	アジア福祉社会調査演習Ⅰ(1年次配当)		演習	2	ARS601	准教授	木内 明	
	春・秋	アジア福祉社会調査演習Ⅱ(2年次配当)		演習	2	ARS602	准教授	木内 明	
子ども支援学コース	春	子ども支援学特論ⅠA	児童福祉論	講義	2	CHS601	教授	森田 明美	
	秋	子ども支援学特論ⅠB	児童福祉論	講義	2	CHS602	教授	森田 明美	
	春	子ども支援学特論ⅡA	家庭支援論	講義	2	CHS603	教授	鈴木 崇之	
	秋	子ども支援学特論ⅡB	家庭支援論	講義	2	CHS604	教授	鈴木 崇之	
	春	子ども支援学特論ⅢA	発達神経学的子ども健康支援論	講義	2	CHS605	教授	杉田 記代子	
	秋	子ども支援学特論ⅢB	発達神経学的子ども健康支援論	講義	2	CHS606	教授	杉田 記代子	
	春	子ども支援学特論ⅣA	子ども心理発達支援論	講義	2	CHS607	教授	中原 美恵	
	秋	子ども支援学特論ⅣB	子ども心理発達支援論	講義	2	CHS608	教授	中原 美恵	
	春	子ども支援学特論ⅤA	保育学	講義	2	CHS609	非常勤講師	清水 玲子	
	秋	子ども支援学特論ⅤB	保育学	講義	2	CHS610	非常勤講師	清水 玲子	
	春	子ども支援学特論ⅥA	子ども表現活動支援論	講義	2	CHS611	教授	角藤 智津子	
	秋	子ども支援学特論ⅥB	子ども表現活動支援論	講義	2	CHS612	教授	角藤 智津子	
	春	子ども支援学特論ⅦA	児童養護論	講義	2	CHS613	教授	小林 英義	
	秋	子ども支援学特論ⅦB	児童養護論	講義	2	CHS614	教授	小林 英義	
	春	子ども支援学特論Ⅷ	子ども支援計画論	講義	2	CHS615	非常勤講師	小野 道子	集中講義
	—	子ども支援学特論Ⅸ	児童福祉施設運営論	講義	2	CHS616			本年度休講
	—	子ども支援学特論ⅩA	子どもの権利論	講義	2	CHS617			本年度休講
	—	子ども支援学特論ⅩB	子どもの権利論	講義	2	CHS618			本年度休講
	春	子ども支援学特論ⅪA	子どもの権利擁護システム論	講義	2	CHS619	非常勤講師	荒牧 重人	
	秋	子ども支援学特論ⅪB	子どもの権利擁護システム論	講義	2	CHS620	非常勤講師	荒牧 重人	
	春	子ども支援学特論ⅫA	幼児教育学	講義	2	CHS621	教授	鈴木 佐喜子	
	秋	子ども支援学特論ⅫB	幼児教育学	講義	2	CHS622	教授	鈴木 佐喜子	
	—	子ども支援学特論ⅬA	健康保育論	講義	2	CHS623			本年度休講
	秋	子ども支援学特論ⅬB	健康保育論	講義	2	CHS624	教授	嶋崎 博嗣	
春	子ども支援学特論ⅭA	児童文学論	講義	2	CHS625	教授	高橋 直美		
秋	子ども支援学特論ⅭB	児童文学論	講義	2	CHS626	教授	高橋 直美		
高齢者・障害者支援学コース	春	高齢者・障害者支援学特論ⅠA	障害者福祉論	講義	2	SWS603	教授	是枝 喜代治	
	秋	高齢者・障害者支援学特論ⅠB	障害者福祉論	講義	2	SWS604	教授	是枝 喜代治	
	春	高齢者・障害者支援学特論ⅡA	精神保健論	講義	2	SWS605	教授	白石 弘巳	
	秋	高齢者・障害者支援学特論ⅡB	精神保健論	講義	2	SWS606	教授	白石 弘巳	
	春	高齢者・障害者支援学特論ⅢA	介護福祉論	講義	2	SWS607	教授	渡辺 裕美	
	秋	高齢者・障害者支援学特論ⅢB	介護福祉論	講義	2	SWS608	教授	渡辺 裕美	
	春	高齢者・障害者支援学特論ⅣA	データ収集と分析基礎	講義	2	SOC601	教授	本名 靖	
	秋	高齢者・障害者支援学特論ⅣB	データ収集と分析基礎	講義	2	SOC602	教授	本名 靖	

ヒューマン
デザイン

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考	
高齢者・障害者支援学コース	春	高齢者・障害者支援学特論ⅤA	レクリエーション支援論	講義	2	AHS601	教授	坂口 正治		
	秋	高齢者・障害者支援学特論ⅤB	レクリエーション支援論	講義	2	AHS602	教授	坂口 正治		
	一	高齢者・障害者支援学特論Ⅵ	障害者支援制度・政策論	講義	2	SWS610			本年度休講	
	秋	高齢者・障害者支援学特論Ⅶ	障害者権利擁護論	講義	2	SWS611	教授(兼任)	高山 直樹		
	春	高齢者・障害者支援学特論Ⅷ	死・ターミナルケアの社会学	講義	2	SOC603	非常勤講師(兼任)	井上 治代		
	一	高齢者・障害者支援学特論Ⅸ	高齢者支援制度・政策論	講義	2	SWS612			本年度休講	
	春	高齢者・障害者支援学特論ⅩA	保健医療福祉調査論	講義	2	SWS613	准教授	的場 智子		
	秋	高齢者・障害者支援学特論ⅩB	保健医療福祉調査論	講義	2	SWS614	准教授	的場 智子		
	春	高齢者・障害者支援学特論ⅪA	医療福祉論	講義	2	SWS615	教授	吉浦 輪		
	秋	高齢者・障害者支援学特論ⅪB	医療福祉論	講義	2	SWS616	教授	吉浦 輪		
	一	高齢者・障害者支援学特論ⅫA	高齢者・障害者リハビリテーション論	講義	2	SWS617			本年度休講	
	一	高齢者・障害者支援学特論ⅫB	高齢者・障害者リハビリテーション論	講義	2	SWS618			本年度休講	
	健康デザイン学コース	一	健康デザイン学特論ⅠA	スポーツ人類学	講義	2	SPS601			本年度休講
		一	健康デザイン学特論ⅠB	スポーツ人類学	講義	2	SPS602			本年度休講
春		健康デザイン学特論ⅡA	スポーツ史	講義	2	SPS603	教授	松尾 順一		
秋		健康デザイン学特論ⅡB	スポーツ史	講義	2	SPS604	教授	松尾 順一		
春		健康デザイン学特論ⅢA	スポーツ民族論	講義	2	SPS605	准教授	木内 明		
秋		健康デザイン学特論ⅢB	スポーツ民族論	講義	2	SPS606	准教授	木内 明		
一		健康デザイン学特論ⅣA	人体構造論	講義	2	GEA601			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅣB	人体構造論	講義	2	GEA602			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅤA	健康増進論	講義	2	AHS603			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅤB	健康増進論	講義	2	AHS604			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅥA	身体機能論	講義	2	ENP601			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅥB	身体機能論	講義	2	ENP602			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅦA	ヘルスプロモーション論	講義	2	AHS605			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅦB	ヘルスプロモーション論	講義	2	AHS606			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅧA	運動制御論	講義	2	GPH603			本年度休講	
一		健康デザイン学特論ⅧB	運動制御論	講義	2	GPH604			本年度休講	
一		健康デザイン学特論ⅨA	コンディショニング論	講義	2	AHS607			本年度休講(隔年開講)	
一		健康デザイン学特論ⅨB	コンディショニング論	講義	2	AHS608			本年度休講(隔年開講)	
春		健康デザイン学特論ⅩA	体育科教育学	講義	2	ESS601	准教授	平野 智之		
秋		健康デザイン学特論ⅩB	体育科教育学	講義	2	ESS602	准教授	平野 智之		
春		健康デザイン学特論ⅪA	学校保健論	講義	2	EDU601	准教授	内山 有子		
秋		健康デザイン学特論ⅪB	学校保健論	講義	2	EDU602	准教授	内山 有子		
春		健康デザイン学演習ⅠA	ヘルスプロモーション論演習	演習	2	AHS601	教授	齊藤 恭平	隔年開講(2017年度休講)	
秋		健康デザイン学演習ⅠB	ヘルスプロモーション論演習	演習	2	AHS602	教授	齊藤 恭平	隔年開講(2017年度休講)	
春		健康デザイン学演習ⅡA	健康増進論演習	演習	2	AHS603	教授	神野 宏司	隔年開講(2017年度休講)	
秋		健康デザイン学演習ⅡB	健康増進論演習	演習	2	AHS604	教授	神野 宏司	隔年開講(2017年度休講)	
春		健康デザイン学演習ⅢA	身体機能論演習	演習	2	ENP601	教授	鈴木 哲郎	隔年開講(2017年度休講)	
秋		健康デザイン学演習ⅢB	身体機能論演習	演習	2	ENP602	教授	鈴木 哲郎	隔年開講(2017年度休講)	
春		健康デザイン学演習ⅣA	人体構造論演習	演習	2	GEA601	非常勤講師	寺島 達夫		
秋		健康デザイン学演習ⅣB	人体構造論演習	演習	2	GEA602	非常勤講師	寺島 達夫		
春	健康デザイン学演習ⅤA	人体構造観察法演習	演習	2	GEA603	教授	大迫 正文	隔年開講(2017年度休講)		
秋	健康デザイン学演習ⅤB	人体構造観察法演習	演習	2	GEA604	教授	大迫 正文	隔年開講(2017年度休講)		
春	健康デザイン学演習ⅥA	コンディショニング演習	演習	2	AHS605	准教授	岩本 紗由美	隔年開講(2017年度休講)		
秋	健康デザイン学演習ⅥB	コンディショニング演習	演習	2	AHS606	准教授	岩本 紗由美	隔年開講(2017年度休講)		

ヒューマン
デザイン

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考
研究指導									
子ども支援学コース	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠA			2	REG601		森田、杉田、中原、角藤、小林、鈴木(佐)、高橋、嶋崎、鈴木(崇)	1セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠB			2	REG602			2セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡA			2	REG603			3セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡB			2	REG604			4セメスタ以上在籍者
高齢者・障害者支援学コース	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠA			2	REG601		是枝、白石、渡辺、本名、吉浦、的場	1セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠB			2	REG602			2セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡA			2	REG603			3セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡB			2	REG604			4セメスタ以上在籍者
健康デザイン学コース	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠA			2	REG601		松尾、大迫、神野、鈴木(哲)、齊藤、木内、岩本、平野、内山	1セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠB			2	REG602			2セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡA			2	REG603			3セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡB			2	REG604			4セメスタ以上在籍者

注:春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名、副指導教授1名(特に主指導教授から指示があった場合は、2名)とし、主指導教授は、課程表の「ヒューマンデザイン研究指導ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」を担当する教員の中から選ぶ。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタごとに主指導教授のみの「研究指導」を履修すること。これにより履修した研究指導の各2単位は、修了要件の単位に充当する。
- 同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない。主指導教授の科目であっても1回のみ履修・単位修得とする。ただし、長期履修学生は、延長したセメスタ(5セメスタ以上)において、主指導教授のヒューマンデザイン研究指導ⅡBをその都度履修すること。なお、この場合であっても、同科目において修了要件に充当するのは2単位のみとする。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- ヒューマンデザイン専攻においては、修士論文に代えて、特定の課題についての研究成果報告書の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。この「特定課題研究」の選択は、原則として入学時にのみ可能である。これを選択する場合は、予め窓口申し出ること。
※「特定課題研究」について
研究分野によっては、計画をもって「特定課題研究」とすることができる。
予め指導教授と相談のうえ窓口申し出ること。
- ヒューマンデザイン実践研究A・Bについて
 - ヒューマンデザイン専攻では、院生が専門分野で社会実践(調査・実習・インターンシップを含む)を行うことを歓迎し推奨している。その社会実践が45時間(1.5時間×2回×15週)を超える場合、院生は実践先から証明を得て、その成果をレポートとして提出することができる。このレポートが一定の水準を満たせば、院生の主指導教授は2単位の演習科目を履修したものと認定し成績を評価する。
 - 実践研究Aは春学期、実践研究Bは秋学期に配置し、在学期間中に各1回履修かつ単位修得することができる。
 - この演習科目は、ToyoNet-Gによる履修登録はできないので、主指導教授と相談の上、実践予定学期の履修登録期間中に、朝霞事務課窓口で配布する「ヒューマンデザイン実践研究履修届出用紙」に記入して提出すること。
- アジア福祉社会調査演習Ⅰ・Ⅱについて
 - この演習科目はアジア地域に実際に赴き、各国における福祉施設や社会福祉政策について調査や実習、インターンシップに従事した場合、その成果をレポートとして提出することができる。このレポートが一定の水準を満たせば、担当教員は2単位の演習科目を履修したものと認定し成績を評価する。
 - 演習Ⅰは1年次、Ⅱは2年次に配置し、原則として、休暇中に現地にて実践した成果を次学期に評価し単位認定するものとし、在学期間中に各1回履修かつ単位修得することができる。
 - この演習科目は、ToyoNet-Gによる履修登録はできないので、主指導教授と相談の上、各学期の履修登録期間中に、朝霞事務課窓口で配布する「アジア福祉社会調査演習履修届出用紙」に記入して提出すること。

博士後期課程（2008年度以前入学生）

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	配当年次	職名	担当教員	備考
子ども支援学研究ⅠA ～児童福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	森田明美	ヒューマンデザイン研究指導ⅠAと共通
子ども支援学研究ⅠB ～児童福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	森田明美	ヒューマンデザイン研究指導ⅠBと共通
子ども支援学研究ⅡA ～脳科学に基づいた子ども健康発達支援論～	講義	2	1・2・3	教授	杉田記代子	ヒューマンデザイン研究指導ⅡAと共通
子ども支援学研究ⅡB ～脳科学に基づいた子ども健康発達支援論～	講義	2	1・2・3	教授	杉田記代子	ヒューマンデザイン研究指導ⅡBと共通
子ども支援学研究ⅢA ～子どもの権利論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
子ども支援学研究ⅢB ～子どもの権利論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
子ども支援学研究ⅣA ～子どもの権利擁護システム論～	講義	2	1・2・3	非常勤講師	荒牧重人	
子ども支援学研究ⅣB ～子どもの権利擁護システム論～	講義	2	1・2・3	非常勤講師	荒牧重人	
子ども支援学研究ⅤA ～幼児教育学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
子ども支援学研究ⅤB ～幼児教育学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅠA	★		1・2・3	教授	森田明美	
ヒューマンデザイン研究指導ⅠB	★		1・2・3	教授	森田明美	
ヒューマンデザイン研究指導ⅡA	★		1・2・3	教授	杉田記代子	
ヒューマンデザイン研究指導ⅡB	★		1・2・3	教授	杉田記代子	
高齢者・障害者支援学研究ⅠA ～障害者福祉論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
高齢者・障害者支援学研究ⅠB ～障害者福祉論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
高齢者・障害者支援学研究ⅡA ～精神保健学～	講義	2	1・2・3	教授	白石弘巳	ヒューマンデザイン研究指導ⅣAと共通
高齢者・障害者支援学研究ⅡB ～精神保健学～	講義	2	1・2・3	教授	白石弘巳	ヒューマンデザイン研究指導ⅣBと共通
高齢者・障害者支援学研究ⅢA ～介護福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	渡辺裕美	ヒューマンデザイン研究指導ⅤAと共通
高齢者・障害者支援学研究ⅢB ～介護福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	渡辺裕美	ヒューマンデザイン研究指導ⅤBと共通
高齢者・障害者支援学研究Ⅳ ～障害者支援制度・政策論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
高齢者・障害者支援学研究Ⅴ ～高齢者支援制度・政策論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅢA	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅢB	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅣA	★		1・2・3	教授	白石弘巳	
ヒューマンデザイン研究指導ⅣB	★		1・2・3	教授	白石弘巳	
ヒューマンデザイン研究指導ⅤA	★		1・2・3	教授	渡辺裕美	

ヒューマン
デザイン

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	配当年次	職名	担当教員	備考
ヒューマンデザイン研究指導ⅤB	★		1・2・3	教授	渡辺裕美	
健康デザイン学研究ⅠA ～スポーツ人類学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
健康デザイン学研究ⅠB ～スポーツ人類学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
健康デザイン学研究ⅡA ～人体構造論～	講義	2	1・2・3	教授	大迫正文	ヒューマンデザイン研究指導ⅦAと共通
健康デザイン学研究ⅡB ～人体構造論～	講義	2	1・2・3	教授	大迫正文	ヒューマンデザイン研究指導ⅦBと共通
ヒューマンデザイン研究指導ⅥA	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅥB	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅦA	★		1・2・3	教授	大迫正文	
ヒューマンデザイン研究指導ⅦB	★		1・2・3	教授	大迫正文	
人間環境デザイン学研究ⅠA ～まちづくり特論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
人間環境デザイン学研究ⅠB ～まちづくり特論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
人間環境デザイン学研究ⅡA ～生活空間計画特論～	講義	2	1・2・3	教授	高橋儀平	ヒューマンデザイン研究指導ⅨAと共通
人間環境デザイン学研究ⅡB ～生活空間計画特論～	講義	2	1・2・3	教授	高橋儀平	ヒューマンデザイン研究指導ⅨBと共通
人間環境デザイン学研究ⅢA ～製品デザイン～	講義	2	1・2・3			本年度休講
人間環境デザイン学研究ⅢB ～製品デザイン～	講義	2	1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅧA	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅧB	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅨA	★		1・2・3	教授	高橋儀平	
ヒューマンデザイン研究指導ⅨB	★		1・2・3	教授	高橋儀平	
ヒューマンデザイン研究指導ⅩA	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅩB	★		1・2・3			本年度休講

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」（★印の科目）は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 本表に掲げたもののほか、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる（同一名称科目は1回のみ単位修得できる）。

博士後期課程（2009年度以降入学生）

コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考
子ども支援学コース	春	子ども支援学研究ⅠA	児童福祉論	講義	2	CHS701	教授	森田明美	
	秋	子ども支援学研究ⅠB	児童福祉論	講義	2	CHS702	教授	森田明美	
	春	子ども支援学研究ⅡA	脳科学に基づいた子ども健康発達支援論	講義	2	CHS703	教授	杉田記代子	
	秋	子ども支援学研究ⅡB	脳科学に基づいた子ども健康発達支援論	講義	2	CHS704	教授	杉田記代子	
	—	子ども支援学研究ⅢA	子どもの権利論	講義	2	CHS705			本年度休講
	—	子ども支援学研究ⅢB	子どもの権利論	講義	2	CHS706			本年度休講
	春	子ども支援学研究ⅣA	子どもの権利擁護システム論	講義	2	CHS707	非常勤講師	荒牧重人	
	秋	子ども支援学研究ⅣB	子どもの権利擁護システム論	講義	2	CHS708	非常勤講師	荒牧重人	
	春	子ども支援学研究ⅤA	幼児教育学	講義	2	CHS709	教授	鈴木佐喜子	
	秋	子ども支援学研究ⅤB	幼児教育学	講義	2	CHS710	教授	鈴木佐喜子	
	春	子ども支援学研究ⅥA	子どもの表現論	講義	2	CHS711	教授	角藤智津子	
	秋	子ども支援学研究ⅥB	子どもの表現論	講義	2	CHS712	教授	角藤智津子	
高齢者・障害者支援学コース	春	高齢者・障害者支援学研究ⅠA	障害者福祉論	講義	2	SWS701	教授	是枝喜代治	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅠB	障害者福祉論	講義	2	SWS702	教授	是枝喜代治	
	春	高齢者・障害者支援学研究ⅡA	精神保健論	講義	2	SWS703	教授	白石弘巳	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅡB	精神保健論	講義	2	SWS704	教授	白石弘巳	
	春	高齢者・障害者支援学研究ⅢA	介護福祉論	講義	2	SWS705	教授	渡辺裕美	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅢB	介護福祉論	講義	2	SWS706	教授	渡辺裕美	
	—	高齢者・障害者支援学研究Ⅳ	障害者支援制度・政策論	講義	2	SWS707			本年度休講
	—	高齢者・障害者支援学研究Ⅴ	高齢者支援制度・政策論	講義	2	SWS708			本年度休講
	春	高齢者・障害者支援学研究ⅥA	医療福祉論	講義	2	SWS709	教授	吉浦輪	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅥB	医療福祉論	講義	2	SWS710	教授	吉浦輪	

ヒューマン
デザイン

コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考
健康デザイン学コース	—	健康デザイン学研究ⅠA	スポーツ人類学	講義	2	SPS701			本年度休講
	—	健康デザイン学研究ⅠB	スポーツ人類学	講義	2	SPS702			本年度休講
	春	健康デザイン学研究ⅡA	人体構造論	講義	2	GEA701	教授	大迫正文	
	秋	健康デザイン学研究ⅡB	人体構造論	講義	2	GEA702	教授	大迫正文	
	春	健康デザイン学研究ⅢA	スポーツ史	講義	2	SPS703	教授	松尾順一	
	秋	健康デザイン学研究ⅢB	スポーツ史	講義	2	SPS704	教授	松尾順一	
	春	健康デザイン学研究ⅣA	健康増進論	講義	2	AHS701	教授	神野宏司	
	秋	健康デザイン学研究ⅣB	健康増進論	講義	2	AHS702	教授	神野宏司	
	春	健康デザイン学研究ⅤA	ヘルスプロモーション論	講義	2	AHS703	教授	齊藤恭平	
	秋	健康デザイン学研究ⅤB	ヘルスプロモーション論	講義	2	AHS704	教授	齊藤恭平	

研究指導

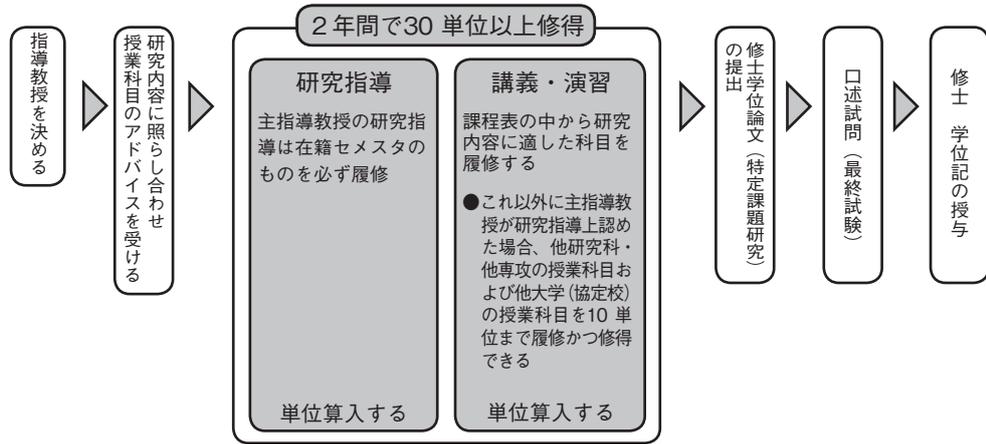
コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考
子ども支援学コース	春	ヒューマンデザイン研究指導				REG701		森田、杉田、鈴木(佐)、角藤	
	秋	ヒューマンデザイン研究指導				REG702			
高齢者・障害者支援学コース	春	ヒューマンデザイン研究指導				REG701		是枝、白石、渡辺、吉浦	
	秋	ヒューマンデザイン研究指導				REG702			
健康デザイン学コース	春	ヒューマンデザイン研究指導				REG701		大迫、松尾、神野、齊藤	
	秋	ヒューマンデザイン研究指導				REG702			

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名、副指導教授1名（特に主指導教授から指示があった場合は、2名）とし、主指導教授および副指導教授は、2009年度以降入学生用課程表の「ヒューマンデザイン研究指導」を担当する教員の中から選ぶ。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタごとに主指導教授のみの「研究指導」を履修すること。
- 主指導教授の講義は、同一科目であっても、各年度毎セメスタ履修すること。それ以外の教員の講義は主指導教授の指示を受けて決定すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。

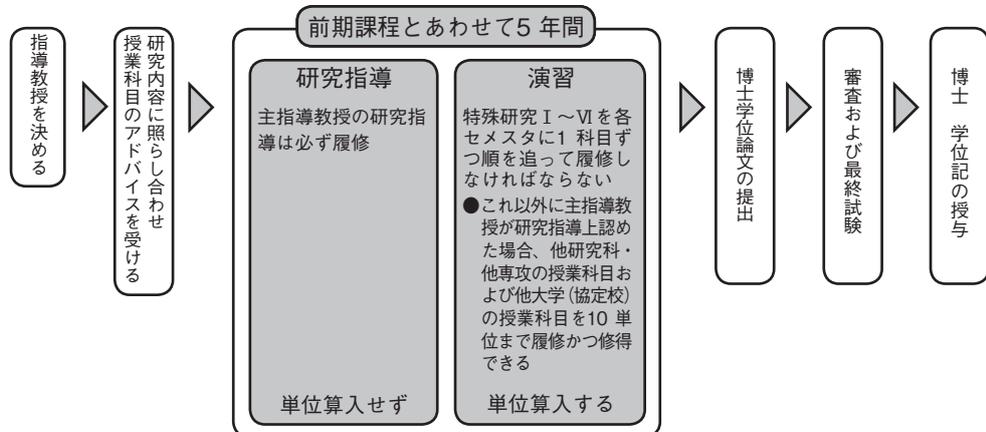
人間環境デザイン専攻

前期課程 履修の流れ



人間環境
デザイン

後期課程 履修の流れ



人間環境デザイン専攻

博士前期課程

選択・必修の別	2016年度開講学期	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	相 番 ナンバリング	配当 年次	開講年度		職 名	担当教員	備 考
							2016	2017			
必修	春	人間環境デザイン基礎特論	講義	2	DES601	1・2	○	○		奥村、柏樹、嶺、仲、水村、櫻井、菅原	
選択	—	地域計画特論	講義	2	TPA601	1・2		○	准教授	菅原麻衣子	本年度休講(隔年開講)
	春	建築計画特論	講義	2	TPA602	1・2	○		教授	高橋儀平	
	秋	建築設計特論	講義	2	BSM601	1・2	○		教授	内田祥士	
	—	建築意匠特論	講義	2	AHD601	1・2		○	教授	櫻井義夫	本年度休講(隔年開講)
	秋	建築構法特論	講義	2	BSM602	1・2	○		准教授	名取 発	
	—	生活支援工学特論	講義	2	RSW601	1・2		○	准教授	嶺 也守寛	本年度休講(隔年開講)
	—	生活支援デザイン特論	講義	2	RSW602	1・2		○	教授	繁成 剛	本年度休講(隔年開講)
	春	生活支援ロボット工学特論	講義	2	RSW603	1・2	○		教授	高橋良至	
	—	住居計画特論	講義	2	CLD601	1・2		○	教授	水村容子	本年度休講(隔年開講)
	—	製品デザイン特論	講義	2	DES602	1・2		○	教授	奥村和正	本年度休講(隔年開講)
	春	アクセシブルデザイン特論	講義	2	DES603	1・2	○		准教授	池田千登勢	
	春	ヒューマンインターフェイス特論	講義	2	HII601	1・2	○		准教授	北 真吾	
	春	インテリアデザイン特論	講義	2	CLD602	1・2	○		准教授	柏樹 良	
	—	生活空間計画特論	講義	2	TPA603	1・2		○	教授	川内美彦	本年度休講(隔年開講)
	—	医療福祉建築特論	講義	2	AEN601	1・2		○	准教授	仲 綾子	本年度休講(隔年開講)
	—	建築環境特論(一級建築士資格対応)	講義	2	AEN602	1・2		○	非常勤講師	開原典子	本年度休講(隔年開講)
	秋	コミュニケーション支援技術特論	講義	2	RSW604	1・2	○		非常勤講師	巖淵 守	集中講義
	—	認知心理学特論	講義	2	CGS601	1・2		○			本年度休講(隔年開講)
	春	産学協同特別実習ⅠA	演習	2	CIV603	1	○	○		研究指導担当教員	
	秋	産学協同特別実習ⅠB	演習	2	CIV604	1	○	○		研究指導担当教員	
春	産学協同特別実習Ⅱ	演習	2	CIV605	2	○	○		研究指導担当教員		
4単位選択必修	—	建築計画特別演習A	演習	2	TPA601	1・2		○	右記教員	水村容子、菅原麻衣子	本年度休講(隔年開講)
	—	建築計画特別演習B	演習	2	TPA602	1・2		○		高橋儀平、仲綾子、嶋田洋平(非常勤講師)	本年度休講(隔年開講)
	春	建築設計特別演習A	演習	2	BSM601	1・2	○		右記教員	内田祥士、山本成一郎(非常勤講師)	
	春	建築設計特別演習B	演習	2	BSM602	1・2	○			櫻井義夫、関佳彦(非常勤講師)	
	春	建築設計特別演習C	演習	2	BSM603	1・2	○		右記教員	名取発、鈴木隆之(非常勤講師)	
	—	生活支援デザイン特別演習A	演習	2	RSW601	1・2		○		川内美彦、繁成 剛	本年度休講(隔年開講)
	—	生活支援デザイン特別演習B	演習	2	RSW602	1・2		○	右記教員	高橋良至、嶺也守寛	本年度休講(隔年開講)
	春	製品デザイン特別演習A	演習	2	DES601	1・2	○	○		奥村和正、柏樹 良	
春	製品デザイン特別演習B	演習	2	DES602	1・2	○	○	北 真吾、池田千登勢			
必修	春・秋	人間環境デザイン学研究指導ⅠA	研究指導	2	REG605	1	○	○	各指導教員	高橋(儀)、内田(祥)、櫻井、名取、高橋(良)、水村、奥村、池田、北、柏樹、川内、菅原、嶺、仲	1セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学研究指導ⅠB	研究指導	2	REG606	1	○	○		2セメスタ在籍者	
	春・秋	人間環境デザイン学研究指導ⅡA	研究指導	2	REG607	2	○	○		3セメスタ在籍者	
	春・秋	人間環境デザイン学研究指導ⅡB	研究指導	2	REG608	2	○	○		4セメスタ以上在籍者	

注：春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

人間環境デザイン

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタごとに主指導教授の「人間環境デザイン学研究指導」を履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない。
ただし、長期履修学生は、延長したセメスタ（5セメスタ以上）において、主指導教授の「人間環境デザイン学研究指導ⅡB」をその都度履修すること。なお、この場合であっても、同科目において修了要件の単位に充当するのは2単位のみとする。
- 「修士論文」または「特定課題研究」の作成にあたっては、主指導教授の指導を受けなければならない。
- 特定課題研究のうち、修士制作を提出する場合の図書書式は下記のとおりとする。
 - 提出はA4またはA3サイズとする。
 - 内容
 - 調査報告あるいは設計趣意書（約40,000字～60,000字程度）
 - 図面もしくはそれに相当する表現：10枚～15枚程度（課題内容に合わせて書式は指示する）
 - 模型等の提出は認めるが、修士制作図書一式で表現が完結していること。
- 建築士試験の大学院における実務経験を認定してもらうためには、特定課題研究として「修士設計」の提出を求めることがあるので、指導教授の指示を受けること。

博士後期課程

選択・必修の別	開講学期	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	配当年次	開講年度		職名	担当教員	備考
							2016	2017			
必修	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅰ	演習	2	REG703	1	○	○	各指導員	高橋儀平、奥村和正、内田祥士、櫻井義夫、水村容子、高橋良至、菅原麻衣子	1セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅱ	演習	2	REG704	1	○	○			2セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅲ	演習	2	REG705	2	○	○			3セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅳ	演習	2	REG706	2	○	○			4セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅴ	演習	2	REG707	3	○	○			5セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅵ	演習	2	REG708	3	○	○			6セメスタ以上在籍者
必修	春	人間環境デザイン学研究指導(春学期)	研究指導		REG710 ～ REG715	1～3	○	○	各主指導員	高橋儀平、奥村和正、内田祥士、水村容子、高橋良至、菅原麻衣子	各セメスタごとに履修
	秋	人間環境デザイン学研究指導(秋学期)	研究指導		REG710 ～ REG715	1～3	○	○			各セメスタごとに履修

注：春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 原則として、「人間環境デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ」は、主指導教授または副指導教授の科目を在籍セメスタごとに1科目ずつ順を追って履修すること。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタの主指導教授の「人間環境デザイン学研究指導」を履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる。

■産学協同特別実習 I A・I B・II について

本実習は、人間環境デザイン専攻のインターンシップ科目である。ただし、建築・環境デザインコースの院生にとっては、一級建築士受験に際して、大学院在学期間の内一年間を実務経験年数として換算するためにも用いることが出来る科目として配置されている。本実習を実務経験年数として換算するために用いる場合には、あらかじめ、その旨指導教員に申し出て、必要な手続をとる必要がある。その上で、指導教員が適切と判断した一級建築士事務所に出向き、設計図書の作成等の建築設計補助業務を行う。したがって、直接の指導は出向先の有資格者（一級建築士）から受ける事になる。事前ガイダンスと事後報告計10時間とインターンシップ80時間の合計90時間で2単位とする。なお、建築設計補助業務とは下記の4つとする。

- ・実際の設計活動における設計補助作業
- ・実際の確認申請における申請業務の補助
- ・実際の工事監理における監理業務の補助
- ・設計競技或いはプロポーザル等の設計補助作業

本科目を受講した院生は単位の修得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告すること。

また、道具・機器デザイン及び製品・情報デザインの各コースにおいては、通常のインターンシップ科目として運用されるが、合計90時間で2単位であること、単位の修得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告する点は、建築・環境デザインコースの場合と同様である。

※産学協同特別実習 I A・I Bは1年次、IIは2年次に配置する。

※この科目は ToyoNet-G による履修登録はできないので、主旨導教授と相談の上、実習が確定次第朝霞事務課窓口
に申し出て、必要書類を提出すること。

■人間環境デザイン学研究指導 I A・I B・II A・II Bをインターンシップ科目とする場合について

本科目をインターンシップ科目とするのは、建築・環境デザインコースの院生が大学院在学期間の全て（2年間）を実務経験年数として換算する場合のみとする。その場合、その院生は、特定課題研究として、インターンシップ報告書（インターンシップを体系的に整理したポートフォリオを含む）を提出しなければならない。

なお、本科目をインターンシップ科目とする場合、学外インターンシップとする場合と、学内インターンシップとする場合があり、どちらにするかは、指導教員の指導によるが、前者とする場合は、産学協同特別実習と同じ形式で行うものとする。

また、合計90時間で2単位であること、単位の修得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告する点は、産学協同特別実習の場合と同様とする。

■一級建築士受験資格と実務年限

建築・環境デザインコースの大学院博士前期課程の学生は、インターンシップ関連科目の取得に応じて、大学院の2年間の半分または全てを一級建築士受験資格の実務年限として換算することが出来る。その選択は、大学院生自身によるが、その全てを一級建築士受験資格の実務年限として換算することを希望する場合には、入学または進級時に、その意志を指導教員に申し出ること。

なお、インターンシップ及び関連科目の詳細については、シラバスを確認すること。